

意見書案第 1 号

企業・団体献金の全面禁止を求める意見書案を提出するにつ
いて

宇治市議会会議規則第 1 4 条第 1 項の規定により、見出しの議案
を別紙のとおり提出する。

令和 6 年 3 月 2 6 日提出

提出者 宇治市議会議員 宮 本 繁 夫

同 坂 本 優 子

同 山 崎 匡

同 大 河 直 幸

同 徳 永 未 来

同 谷 上 晴 彦

宇治市議会議長 松 峯 茂 様

企業・団体献金の全面禁止を求める意見書

政治資金パーティー収入をめぐる、収支報告書への不記載、議員への還流、裏金疑惑などに国民の怒りと批判の声が大きく広がっている。

自民党が行った党内アンケートによる、わずか5年分の調査だけでも政治資金収支報告書に記載せず裏金としていた金額が5.8億円にも上っていることが、明らかになった。

国民からは「裏金が発覚したら報告書を訂正しさえすれば、責任は問われないのか」、「税務署では1円単位の領収書が必要なのに、自民党議員は額や支出先は『不明』でよいのか」など怒りの声広がっている。

問題の本質は、金の力で政治が歪められたのではないかということだ。

そもそも、パーティー券購入先の多くが企業・団体であり、形を変えた企業・団体献金となっていることは明らかである。パーティー券の規制を含む企業・団体献金の全面禁止は金権腐敗政治を根絶し、国民の政治不信回復の道である。

よって、国におかれては、政治資金パーティー券の規制を含む企業・団体への献金を全面禁止することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月 日

京都府宇治市議会議長 松峯 茂

衆議院議長	額賀福志郎様
参議院議長	尾辻秀久様
内閣総理大臣	岸田文雄様
総務大臣	松本剛明様
内閣官房長官	林 芳正様